

## 2025年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月10日

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ 上場取引所 東 名  
 コード番号 8886 URL <https://www.woodfriends.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 嘉浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理室長 (氏名) 中島 崇 TEL 052-249-3504  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年5月期第3四半期の連結業績（2024年6月1日～2025年2月28日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期第3四半期	15,901	△35.8	△1,533	—	△1,684	—	△1,788	—
2024年5月期第3四半期	24,749	△22.8	△1,532	—	△1,791	—	△1,990	—

（注）包括利益 2025年5月期第3四半期 △1,756百万円（—%） 2024年5月期第3四半期 △1,951百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期第3四半期	△1,226.68	—
2024年5月期第3四半期	△1,365.33	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年5月期第3四半期	21,139	3,276	12.6	1,833.35
2024年5月期	23,823	5,032	18.7	3,061.66

（参考）自己資本 2025年5月期第3四半期 2,673百万円 2024年5月期 4,464百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年5月期	—	0.00	—		
2025年5月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年5月期の連結業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,601	△32.0	△1,600	—	△1,885	—	△2,059	—	△1,412.13

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細については、本日（2025年4月10日）公表いたしました「2025年5月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年5月期3Q	1,480,000株	2024年5月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	2025年5月期3Q	21,917株	2024年5月期	21,917株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年5月期3Q	1,458,083株	2024年5月期3Q	1,458,083株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（自 2024年6月1日 至 2025年2月28日）の概況は以下のとおりであります。

愛知県における戸建住宅市場においては、資材価格及び建築費の上昇により物件価格が高止まりする等、厳しい市場環境となっており、今後も継続すると予想されます。

当社グループの住宅事業においては、前連結会計年度より事業の方針を「総量」から「高付加価値」へ転換し、同事業における経営資源の配分を見直しました。併せて資本効率及び収益性を改善すべく事業構造の改革を進めてまいりました。住宅事業における具体的な施策としては、分譲住宅供給エリア及び立地を厳選するとともに、商品性の見直しや建物原価の低減を実施しました。この取組みにより、分譲住宅販売においては収益性改善の兆しが見えはじめましたが、戸建住宅市場は依然として厳しい状況が継続すると予想しております。また、並行して進めておりました長期在庫の販売に関しては、市場環境の厳しさ及び経済環境の影響を受け、その一部が第4四半期会計期間へずれ込むこととなりました。

分譲住宅事業と密接な関係にある建材販売では、工場稼働率は回復傾向にあるものの、戸建住宅市場における新設住宅着工戸数減少の影響を受け、収益性の改善は道半ばであります。2024年11月より操業を開始した製材工場では当面、減価償却費等の費用負担が先行しますが、原木調達体制及び安定生産体制の構築に注力しております。2025年1月よりグループ内外に向け製材品の出荷を開始しました。今後も国産材を使用することのメリットを市場に訴求して販売量を伸長させ、「木質資源カスケード事業」の中核を担う工場として収益化を目指します。なお、これまで自社開発を行ってまいりました木製サッシについては、新たな収益の柱とすべく本格的な事業化に向けて準備を開始し、他社と共同して製品開発を行っております。

ゴルフ場運営等において利用者が堅調に推移しております余暇事業では、インバウンド需要の回復により「HOTEL WOOD高山」（岐阜県高山市）の利用者が前年同期比で大幅に増加したことにより業績は計画を上回りました。

収益不動産の企画・販売等を行う都市事業では、開発を進めておりましたナーシングホーム（愛知県瀬戸市）が竣工し、保有物件は2棟となりました。そのうち、1棟は不動産特定共同事業の「信長ファンド」により投資ファンド組成を行い、現在運用中であります。

当社は2024年6月1日を効力発生日として、吸収分割の方法により当社が営む住宅事業を当社の100%子会社である株式会社ウッドコンストラクションに承継し、持株会社へ移行しました。本移行に伴い、報告セグメントの各グループ会社の営業費用に経営指導料を計上しております。

なお、本分割に伴う会計処理については、共通支配下の取引として処理しており、これによる経営成績への影響はありません。

### <連結業績>

当社グループの主たる事業である住宅事業での著しい収益性の低下及び戸建住宅販売戸数が前年同期比で減少したことを主な要因として営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失を計上しました。

	売上高	営業損失（△）	経常損失（△）	親会社株主に帰属する四半期純損失（△）
当期実績	15,901百万円	△1,533百万円	△1,684百万円	△1,788百万円
前年同期比	35.8%減	—	—	—

（注）営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失であるため、前年同期比は記載しておりません。

### <販売実績>

	戸建住宅	集合住宅	合計
当期実績	297戸	（2棟）32戸	329戸
前年同期比	42.6%減	63.6%減	45.6%減

<セグメント実績>

a 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売及び住宅建設資材の製造・販売

	売上高	セグメント損失(△)	主な増減要因
当期実績	13,441百万円	△2,009百万円	販売戸数の減少及び収益性の著しい悪化によりセグメント損失を計上。
前年同期比	37.8%減	—	

(注) セグメント損失であるため、前年同期比は記載しておりません。

b 余暇事業

ゴルフ場及びホテル並びに公共施設の運営管理及び施設管理

	売上高	セグメント利益	主な増減要因
当期実績	2,090百万円	359百万円	当連結会計年度より経営指導料を計上し、セグメント利益が減少。
前年同期比	2.2%増	22.3%減	

c 都市事業

収益不動産の開発並びに施設等の維持管理等

	売上高	セグメント損失(△)	主な増減要因
当期実績	544百万円	△54百万円	前年同期は収益不動産5棟(88戸)を売却したのに対し、当期は2棟(32戸)のため、売上高は減少。
前年同期比	52.1%減	—	

(注) セグメント損失であるため、前年同期比は記載しておりません。

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、住宅販売による棚卸資産の減少、長期有利子負債の返済による現金及び預金の減少を主な要因として、前連結会計年度末と比較し2,684百万円減少し、21,139百万円となりました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、長期有利子負債の減少を主な要因として、前連結会計年度末と比較し927百万円減少し、17,863百万円となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により、前連結会計年度末と比較し1,756百万円減少し、3,276百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年1月10日に公表した通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日(2025年4月10日)公表いたしました「2025年5月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,086,147	1,169,061
完成工事未収入金	32,937	10,659
売掛金	467,999	482,257
販売用不動産	5,243,851	3,799,609
仕掛販売用不動産	2,738,377	3,105,236
商品及び製品	374,933	391,238
未成工事支出金	765,516	1,027,537
仕掛品	452,718	459,068
原材料及び貯蔵品	675,665	762,485
その他	493,840	849,782
貸倒引当金	△2,960	△2,960
流動資産合計	14,329,028	12,053,977
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,963,869	3,423,504
機械装置及び運搬具（純額）	647,770	2,539,987
建設仮勘定	3,746,007	28,874
その他（純額）	2,274,069	2,216,173
有形固定資産合計	8,631,716	8,208,540
無形固定資産	340,300	392,292
投資その他の資産	522,915	485,146
固定資産合計	9,494,932	9,085,979
資産合計	23,823,960	21,139,956
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	919,398	772,775
買掛金	549,501	487,500
1年内償還予定の社債	391,200	588,000
短期借入金	4,719,920	6,172,027
1年内返済予定の長期借入金	1,644,088	1,429,393
匿名組合預り金	—	137,500
未払法人税等	107,705	66,393
賞与引当金	132,543	96,346
完成工事補償引当金	76,740	69,764
その他	1,176,809	553,666
流動負債合計	9,717,906	10,373,367
固定負債		
社債	977,000	449,000
長期借入金	6,542,912	5,581,264
役員退職慰労引当金	159,774	162,138
退職給付に係る負債	5,425	6,488
その他	1,388,174	1,291,258
固定負債合計	9,073,285	7,490,149
負債合計	18,791,192	17,863,516

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年2月28日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	284,956	284,956
利益剰余金	3,939,892	2,151,289
自己株式	△42,195	△42,195
株主資本合計	4,461,779	2,673,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,380	-
その他の包括利益累計額合計	2,380	-
非支配株主持分	568,608	603,264
純資産合計	5,032,767	3,276,439
負債純資産合計	23,823,960	21,139,956

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)
売上高	24,749,958	15,901,141
売上原価	23,661,295	14,841,738
売上総利益	1,088,663	1,059,402
販売費及び一般管理費	2,621,520	2,592,604
営業損失(△)	△1,532,856	△1,533,201
営業外収益		
受取利息	2,849	2,159
受取手数料	6,435	1,069
受取保険金	33,879	13,001
補助金収入	—	6,675
違約金収入	18,641	600
その他	25,235	6,722
営業外収益合計	87,041	30,229
営業外費用		
支払利息	263,223	158,827
資金調達費用	15,360	9,461
その他	67,073	13,272
営業外費用合計	345,657	181,560
経常損失(△)	△1,791,472	△1,684,533
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,800
特別利益合計	—	2,800
特別損失		
固定資産除却損	7,089	2,120
特別損失合計	7,089	2,120
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,798,562	△1,683,853
法人税等	154,657	70,094
四半期純損失(△)	△1,953,219	△1,753,947
非支配株主に帰属する四半期純利益	37,550	34,656
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,990,770	△1,788,603



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)
四半期純損失(△)	△1,953,219	△1,753,947
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,534	△2,380
その他の包括利益合計	1,534	△2,380
四半期包括利益	△1,951,685	△1,756,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,989,236	△1,790,983
非支配株主に係る四半期包括利益	37,550	34,656

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)
減価償却費	488,139千円	591,316千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	住宅事業	余暇事業	都市事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	21,612,740	2,044,949	1,091,663	24,749,353	605	24,749,958	—	24,749,958
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,300	—	44,009	48,309	—	48,309	△48,309	—
計	21,617,040	2,044,949	1,135,673	24,797,662	605	24,798,268	△48,309	24,749,958
セグメント利益 又は損失 (△)	△1,567,975	462,479	88,062	△1,017,433	△206	△1,017,640	△515,216	△1,532,856

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他貸貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△515,216千円には、セグメント間取引消去△12,847千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△502,369千円が含まれています。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他の 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	住宅事業	余暇事業	都市事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	13,322,508	2,089,866	488,767	15,901,141	—	15,901,141	—	15,901,141
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	119,189	250	55,491	174,931	—	174,931	△174,931	—
計	13,441,697	2,090,116	544,258	16,076,073	—	16,076,073	△174,931	15,901,141
セグメント利益 又は損失 (△)	△2,009,656	359,146	△54,704	△1,705,213	—	△1,705,213	172,011	△1,533,201

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額172,011千円には、セグメント間取引消去並びに各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。なお、全社収益は主に各事業報告セグメントからの経営指導料等であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。